※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	コンピュータ・ミュージック	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽理論の基礎を学んだ上で、コンピュータによる楽譜作成・編曲・作曲を行う。
・実技教科となるため、生徒の主体的・積極的な取組みを重視する。

２　学習の到達目標

知識及び技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な音楽理論の基礎を学び、その技能を身に付けることを目標とする。
思考力、判断力、表現力等：元となる音源の音楽的要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表すかについて表現意図を持ち、コンピュータを用いて楽譜作成・編集・作曲して表現することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等：音楽の特徴や音、各楽器のよさを生かして、それを主体的・協働的に表現しようとする活動に取り組むことを目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	譜面を作成する上で必要な記号や内容を理解する。	鑑賞や理論で様々な楽曲の要素を知り、表現方法を学び自ら考えた意図をコンピュータ上で表現する。	どの様に編成するか自ら考え、グループで相談し作成する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	音楽理論	音符、休符の種類 ソフトの使い方	a:音楽理論の基礎を身に付けている c:譜面を作成する上で必要な知識を主体的に身に付けようとしている	ワークシート		観察
	ピアノ譜面	校歌 ピアノ課題曲 ピアノ自由曲	b:音楽的要素を知覚し表現意図をもっている c:音楽の特徴を捉え表現に取り組んでいる		作品の聴取	ワークシート
2学期	バンド譜面	バンド課題曲 バンド自由曲 バンド共同曲	b:各パートの関連を知覚しそれらの働きを感受しながら表現意図をもっている c:各楽器の良さを生かして協働的に表現しようとする活動に取り組んでいる		作品の聴取	観察
	アレンジ・作曲	アレンジ課題曲 アレンジ自由曲 自作曲	a:創意工夫を生かした音楽表現をするためにアレンジ、作曲に必要な理論を身に付けている b:元となる音楽的要素を理解し編曲の表現意図を持っている	観察	ワークシート	
3学期	メドレー	メドレーの作成	a:メドレー作成の理論と技能を身に付けている b:それぞれの曲の関連を知覚しどのように表すかについて表現意図を持っている c:各曲の良さを生かして主体的に表現しようと取組もうとしている	ワークシート	作品の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度